

## 母子保健課調査として、新たに調査方法を変えて把握する指標

データ 収集方法	調査 対象者	調査 時期	調査方法	指標番号
<p>(1) 乳幼児健康診査での必須問診項目として設定 (15 指標)</p>	<p>乳幼児健康診査の対象者全員 ※指標の設問により、対象児の月齢は異なる。</p>	<p>毎年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市町村がデータを収集し、年度毎に集計の上、都道府県に報告。</li> <li>● 都道府県がデータを集計して、集計データを国に報告。</li> </ul> <p>※各地方自治体は、平成27年度からデータ収集・集計し、平成28年度に実施する母子保健課調査から報告する。</p>	<p>基盤課題A-3 : 妊娠・出産について満足している者の割合(3・4か月児)            基盤課題A-5 : 妊娠中の妊婦の喫煙率(3・4か月児)            基盤課題A-6 : 育児期間中の両親の喫煙率(3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)            基盤課題A-7 : 妊娠中の妊婦の飲酒率(3・4か月児)            基盤課題A-11 : 仕上げ磨きをする親の割合(1歳6か月児)            基盤課題A-参7 : 出産後1か月時の母乳育児の割合(3・4か月児)            基盤課題A-参10 : 1歳6か月までに四種混合、麻しん・風しんの予防接種を終了している者の割合(1歳6か月児)            基盤課題C-1 : この地域で子育てをしたいと思う親の割合            (3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)            基盤課題C-5 : 積極的に育児をしている父親の割合            (3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)            基盤課題C-参4 : 乳幼児のいる家庭で、風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないよう工夫した家庭の割合(1歳6か月児)            重点課題①-1 : ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合            (3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)            重点課題①-2 : 育てにくさを感じたときに対処できる親の割合            (3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)            重点課題①-3 : 子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合            (3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)            重点課題②-2 : 子どもを虐待していると思われる親の割合            (3・4か月児、1歳6か月児、3歳児)            重点課題②-5 : 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合            (3・4か月児)</p>

<p>(2) 各地方自治体で中間・最終評価の各前年度には調査(4指標)</p>	<p>原則として、乳幼児健康診査の対象者全員。</p>	<p>少なくとも、平成30年度と34年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市町村がデータを収集し、集計の上、都道府県に報告。データ収集方法は問わないが、乳幼児健康診査での問診項目として設定することや、独自の調査を実施すること等が考えられる。</li> <li>● 都道府県がデータを集計して、集計データを国に報告。</li> </ul> <p>※各地方自治体は、少なくとも、平成30年度と34年度にデータ収集・集計し、平成31年度と平成35年度に実施する母子保健課調査に報告する。</p>	<p>基盤課題A-9 : 小児救急電話相談(＃8000)を知っている親の割合(3・4か月児)</p> <p>基盤課題A-10 : 子どものかかりつけ医(医師・歯科医師など)を持つ親の割合(3・4か月児、3歳児) ※歯科医師は、3歳児のみ。</p> <p>基盤課題C-2 : 妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮をされたと思う就労妊婦の割合(3・4か月児)</p> <p>基盤課題C-3 : マタニティマークを妊娠中に使用したことのある母親の割合(3・4か月児)</p>
---	-----------------------------	--------------------------	--	--